

社会科（公民的分野）学習指導案

授業の見どころ

少子高齢化が進む鹿北町。その将来を担う子どもたちが、町特産の茶の販路拡大に情熱を注ぐゲストティーチャーに触れ、共に「茶」の生産・流通・販売を考える活動を通して、経済のしくみに気づいていきます。

日時	平成18年11月16日 第2校時
場所	山鹿市立菊鹿中学校
年組	山鹿市立鹿北中学校 3年2組 男子18人 女子10人 計28人
指導者	山鹿市立鹿北中学校 教諭 原口 義史

1 単元名 「わたしたちの生活と経済」「市場経済と金融」（東京書籍p106～123）

2 単元について

(1) 単元観

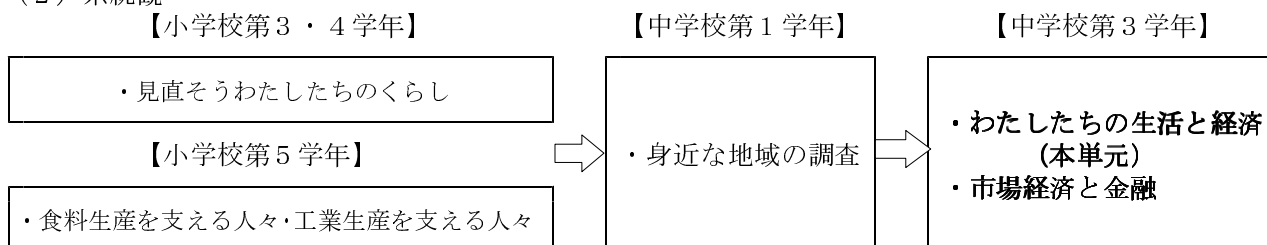
近年、日本の経済は冷戦の終結、バブルの崩壊、東南アジア諸国や中国の台頭といった多くの要因が複雑にからみあい、大きく変化を見せてきた。特に、大手小売業者による直接輸入（直接仕入れ）・直接販売といった流通形態の変化や、価格破壊に象徴されるデフレ問題等は近年における日本経済の象徴でもあるとも言える。

生徒にとって生活と経済はとても身近な問題であるにもかかわらずそれを身近な問題として捉え、理解させることは難しい。TV、新聞から溢れ出すCMや広告を目の当たりにし、それらを判断材料として商品を購入している生徒にとっては大きく生活と結びついている問題であり、決して遠い世界の話などではない。

本単元は、経済活動が日々の生活と切り離すことができない活動であり、知識習得やその理解なしでは成り立たないことに気づかせるとともに、経済活動が日々の生活と密接に結びついていることに気づかせるとができる単元である。

また、この単元では生徒の身近で日常的に行われる消費活動を取り上げ、それが経済活動においてどのような意義を持っているかを理解することを目的としている。さらに経済活動を消費者・生産者の立場で公正に思考・判断し、論理的に表現できることを大切にしなければならないと考えている。

(2) 系統観



小学校3・4学年では、地域の人々の生産や販売について、見学したり調査したりして調べ、それらの仕事に携わっている人々の工夫を考える学習をしている。また、5学年では、我が国の農業や水産業について、地図や資料などを活用したりして調べ、食料生産に従事している人々の工夫や努力、生産地と消費地を結ぶ運輸の働き等を学習している。さらに中1では身近な調査で地形図を活用し学習を深めている。

(3) 生徒の実態

本学級の生徒は、全体的に社会の学習に意欲的に取り組み、特に男子が挙手、発表する生徒が多い。しかし、自分の解答に自信がなく全体の前では発表できない生徒がいる。班活動を取り入れる場合も班員が変わるとまとまるのに時間がかかったりし、支持的風土が育っているとはいえない。また、本学級の生徒は知識理解は割と高いが、思考・判断、技能・表現においてはやや低い。

この単元に関する実態調査の結果は以下の通りである。 (3年2組26名実施)

項 目	説明できる (%)	聞いたことがある	聞いたことがない
経済という言葉	15	85	0
流通という言葉	23	65	12
小売業という言葉	4	62	34
卸売りという言葉	4	38	58
需要・供給という言葉	12	58	31

項 目	したことがある (%)	できることは知ってい る	したことがない
インターネットで買い物を	8	69	23

項 目	説明できる (%)	説明できない
価格がどのようにして決まるのか	15	85

項 目	
鹿北町で生産されている有名なものは	茶 しいたけ タケノコ あやすぎ

項 目	鹿北町%	山鹿市街	熊本市内	福岡県	その他
将来住みたいところは	23	8	23	15	23

(4) 指導観

この単元の導入としては、生徒が興味深く楽しく学び、経済の学習が、自分の将来の生活にとって有意義であることを十分に自覚させ、しかも経済学習が楽しく意義深いものであることを十分に実感させるよう、配慮していきたい。そのために今回はゲストティーチャーの支援を入れ、より生徒が主体的に学習できるように授業開発を試みたい。

また、アンケートから経済用語においては「聞いたことがある」が多く、漠然と知っている。また、約2割の生徒が地元に住みたと思っている。実態やアンケートから次のことを考えて指導していきたい。本大会のサブテーマに迫るために以下の点に配慮する

- ①ゲストティーチャーの話やから経済活動が身近なものであることを感じさせ、将来地元を活性化し誇れる意識・態度を育てたい。
- ②学習の中心発問を明確にし、また、思考が持続するように随時揺さぶりをかけるよう発問を工夫する。
- ③ワークシートや小テストで用語をおさえ、基本的事項の定着を図る。
- ④人権教育の視点から、自然環境を克服し、助け合って生きてきた先人たちの努力やたくましく生きていった姿を見つめ、日常の生活において、人が人として生きるための人権確立へ向かって努力する姿勢を育てたい。また、班活動において教え合い、協力し合う態度も育てたい。

3 単元の目標

- (1) 身近で具体的な事例を取り上げることにより経済への興味・関心を高め、経済活動における消費者としての選択について考えることができる。【社会的事象への関心・意欲・態度】
- (2) 経済活動の意義や生産・流通・消費といった経済のおおまかなしくみを地元産業や身近な消費生活を通して理解することができる。【社会的事象についての知識・理解】
- (3) 個人の消費生活や企業の経済活動について、資料の収集・選択・活用を図り、まとめ、説明することができる。【資料活用の技能・表現】
- (4) 身近な地域の学習を計画し、身近な地域の特性を把握し、将来像について多様な視点から考えることができる。【社会的な思考・判断】

4 単元の指導計画（10時間取り扱い）

次	題 材	主な学習内容	配 当
1	鹿北町の現状と課題 1	鹿北町の経済（茶を通して）	1（本時）
2	流通のしくみ	消費と流通 商業の役割 流通の合理化	1 時間
3	生産のしくみ	企業のはたらき 株式会社のしくみ 企業の社会的責任	1 時間
4	市場経済のしくみ	市場経済とは 需要と供給	1 時間
5	市場と価格	価格はシグナル 独占価格 公共料金	1 時間
6	金融のはたらき	お金の貸し借り 金融のはたらき 日本銀行の役割	1 時間
7	働く人たちの生活の向上	労働組合の役割 労働条件の改善 生きがいを求めて	1 時間
8	消費と貯蓄	商品の選択 収入と支出	1 時間
9	消費者の権利と保護	あふれる商品 行政側の対応	1 時間
10	鹿北町の現状と課題 2	鹿北町の経済（茶を通して）	1 時間

5 単元の評価計画

次	題材の目標	徹底 能動	関心・意欲 ・態度	社会的な思考 ・判断	資料活用の 表現・技能	知識・理解
1	●課題を通して経済のしくみに気づき、解決策について考える。 【経済】	徹底 能動	○課題を通して経済のしくみに気づく。 【観察法】	○課題に対する解決策について考えることができる。 【ワークシート】		
2	●身近な地域での流通経済を考え、経済活動への興味関心を高め、「豊かさ」とは何かを理解する ●流通に携わる業者の役割や、流通業者が抱えている合理化の課題について考える。 【流通・商業・卸売業・小売業】	徹底	○商品の様々な流通経路を意欲的に探すことができる。 【観察法】			○流通のおおまかなしくみや経路について理解し、その知識を身につけている。 【ワークシート】
3	●株式会社のしくみと役割を理解する。 ●企業の集中と独占の問題を理解する ●企業の役割と種類について理解する。 【資本主義経済・公企業・私企業・株式会社】	徹底 能動	○株式市場の新聞記事から、自分の知っている企業を見つけ、その企業の商品や株価の変動などについて調べようとする。 【観察法】			○株式会社のしくみを理解することができる。 【ワークシート】
4	●いろいろな資料を基に、商品の価格の決めり方を考え、経済への関心を深める。 ●市場経済の基本的な考え方を具体的な事例を通して理解する。 【価格・需要・供給・市	徹底		○様々な資料から価格の決めり方とその理由について考えることができる。 【観察法】 【ワークシート】		○市場経済のしくみや価格の決めり方、影響について理解し、その知識を身につけている。

	場価格・均衡価格】					
5	<ul style="list-style-type: none"> ●価格がシグナルの役割をしていることを理解する。 ●独占価格の影響や公共料金がもうけられている理由を考える。 【寡占産業・独占価格・公共料金】	徹底		○独占価格や公共料金がもうけられている理由を考察している。 【ワークシート】		○価格にはシグナルの役割があることを理解し、その知識を身につけている。 【ワークシート】
6	<ul style="list-style-type: none"> ●経済活動の中の金融の役割と具体的な業務について理解する。 ●家計と銀行・企業の関わりについて理解する。 【金融・利子・日本銀行・公定歩合】	徹底 能動	○銀行の業務を積極的に考えることができる。 【観察法】			○金融機関が家庭生活や企業活動の中で仲立ちをしていることを理解し、知識を身につけている。 【ワークシート】
7	<ul style="list-style-type: none"> ●労働条件の改善や安定について理解する。 ●失業が生み出す諸問題とその解決方法について理解する。働く人たちの生活の向上 【労働三法・労働災害】	徹底 能動			○新聞などの時事的な資料から、労働条件の問題や失業率などを読み取ることができる。 【ワークシート】	○年功序列型賃金や終身雇用制など日本独自のしくみを理解するとともに、それをふまえた労働条件や雇用の改善方法を知る。 【ワークシート】
8	<ul style="list-style-type: none"> ●消費者が商品やサービスを購入する際、選択の原理が働いていることに気づく。 ●所得と消費の関係を、家計を通して考える。 【家計・消費支出・貯蓄・所得】	徹底 能動		○選択の基準が条件により様々であることに気づき、合理的な選択について考察している。 【観察法】		○家計における所得・消費・貯蓄の関係を理解し、その知識を身につけている。 【ワークシート】
9	<ul style="list-style-type: none"> ●消費者をめぐる問題にはどのようなものがあるか理解する。 ●消費者問題にどう取り組めばよいか理解する。 【消費者主権・クーリングオフ・PL法】	能動			○消費者からの相談受付件数の推移と内容から、被害が増えていることを読み取ることができる。【観察法】 【ワークシート】	○消費者をめぐる問題を理解し、消費者の権利を守るための方法を説明できる。
10	<ul style="list-style-type: none"> ●学習したことをもとに、課題解決の方法について再度考え、提案する。 	徹底	○提案の中に学習したことが生かされていることに気づく。 【観察法】 【ワークシート】	○既習事項をもとに解決策について考え、自分の言葉で表現することができる。【ワークシート】		

5 本時の学習

(1) 目標

- ① 活動を通じて経済のしくみに気づき、その理由を考えようとする。
- ② G Tの話から、解決策を考えることができる。

(2) 展開

学習活動及び形態	時間	徹底 能 動	教師の支援 (○予想される生徒の反応)	教材・ 教具
1 本時の課題を知る。 [一斉]	10	徹底		資料
この鹿北自慢のお茶をもっとたくさんの人に飲んでもらいたい。 どうすればいいだろう？アイデアを出そう。				G T
2 G Tの話聞き、茶の 現状を知る。			<ul style="list-style-type: none"> ・茶を試飲し、鹿北の茶を再認識する。 ・茶の生産のデータを提示する。 	
3 課題の解決に向けて考 える。 ①一人で考える。 [個人] ②グループで意見を出 し、話し合う。[班] ③先生にアドバイスを 求める。	12	能 動	<ul style="list-style-type: none"> ・話をせずじっくりと思考し、書くことを助言する。 ・話し合いの役割にそって進め、発表できる準備ま で仕上げるように指導する。 ○PRをする、価格を下げる、ネット販売をする 流通(販路)の合理化 ・机間指導しながら、随時生徒にアドバイスを与え、 思考が深まるように揺さぶりをかける。 	シート
4 出てきたアイデアを 発表する。[班]	8			画用紙
グループでまとめたアイデアを、G Tに紹介しよう。				
5 G Tから生徒の意見に ついて感想や意見を聞 く。[一斉]	5		<ul style="list-style-type: none"> ・グループより出された意見から、今後の課題(経済 的分野の基礎・基本)を洗い出し、整理しておく。 	
6 グループで再度話し合 う。[班]	10	徹底 能 動	<ul style="list-style-type: none"> ・G Tを通して、生徒の意見の矛盾点や不備な点を 指摘し、さらに思考できるよう課題を明確にする。 ・残り時間を見ながら、活動状況を判断する。 	
7 本時の学習を振り返 り、経済学習で学ぶ課 題を明確にしたことを 知る。[一斉]	5	徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・経済を学習する上で、本時の学習で分からないこ と、疑問に感じたこと、解決できなかったことが、 学習の基礎・基本であり、これからの学習を通し て、獲得していく基礎・基本であることをしっか りと伝える。 	